

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



令和4年9月12日発行

【学校経営の重点】

「和顔愛語 笑顔溢れる栄小学校」

～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ（児童）】

「あたり前のことが
あたり前にできる 栄っ子」

修学旅行を大いに楽しむ！言動が立派！さすが6年生！

8月30日（火）～31日（水） 保護者等の皆様の多大なるご理解・ご協力を得て、修学旅行（ウポポイ、マリパークニクス、ルスツリゾート）を実施しました。

前日の集会において、校長から「どんな修学旅行になればよいと思う？」と聞いたところ、多くの6年生が「楽しく思い出に残る修学旅行」と言っていました。改めて、6年生には一生に一度しかない小学校での修学旅行を大いに楽しんでほしいということを伝えました。

ウポポイでは、展示内容を一生懸命に見学しメモしたり（上段・左画像）、職員の方々にたくさん質問したりするなど、意欲的に学習する姿が数多く見られました。その後、マリパークニクスでは、イルカショーを見たり、エイに触れたり（上段・中央画像）して楽しいひとときを過ごしました。

ルスツリゾートに到着後、制作体験（上段・右画像）に取り組み、楽しみながら草木染めに挑戦していました。2日目はルスツリゾート（下段・左画像）で楽しいひとときを過ごしました。

さすが6年生！素晴らしいと思ったことの 하나가「食器の後片付け」（下段・中央画像）であり、ホテルの方が片付けやすいよう食器をきれいにまとめていました。さらに、1日目の夜に行われた「部屋長会議」（下段・右画像）においては浅沼実行委員長の素晴らしい挨拶に続き、実行委員や部屋長から建設的な意見が数多く出ていました。

私事（校長）で恐縮ですが、修学旅行1日目が誕生日であり、6年生が Happy Birthday to you を歌ってくれました。大変嬉しく思うとともに深く感動しました。6年生の皆さん、ありがとうございます。

月日の流れは早いもので、6年生においては、中学校進学まであと半年ちょっととなりました。中学校においても、学校生活を楽しみ、苦手なことに対してもあきらめずに努力し続けてほしいと思っています。



帯広警察署・帯広市危機対策課等による通学路の合同点検

先日、帯広警察署・帯広市土木課・帯広市管理課・帯広市危機対策課・帯広市教育委員会・栄小学校による通学路の合同点検（右記3箇所）を実施しました。

校長より、登校時の道路状況を説明するとともに手押し信号機や横断歩道の設置を強く要望しました。

手押し信号機等の設置には多額の費用がかかるなど難しい状況ではありますが、今後も引き続き要望をしていきます。



学習発表会に向けて、子どもたちは頑張っています！

学習発表会に向けて、器楽合奏などの練習が始まりました。

例えば、5年生が練習している曲名は「情熱大陸」であり、とても良い曲です。それ以上に感心していることは、パート別に協力しながら練習することができていたり、先生が別なパートを指導している間「もう一回やってみよう！」と声をかけ、みんなで一生懸命に練習していることです。

子どもたちと話していると、器楽が得意という人もいれば苦手という人もいました。得手不得手に関係なく、学習発表会に向けた取組や当日の発表を楽しんでほしいと思っています。



子どもたちの考える力や表現する力をさらに高めたい！

本校においては、「思考力・判断力・表現力を育むICTを活用した授業づくり」を研究テーマとして取組を進めています。

国の方針により、昨年4月からそれぞれの子どもたちが自分専用のタブレットを使えるようになりました。

タブレットはあくまでも学習道具であり、授業においてはこれまでと同様に教科書やノート、動画、画像、実物投影機などを活用するとともにタブレットも活用しながら授業を進めています。

タブレットの使用時間を制限しつつ、タブレットを活用することにより、よりよく理解できる場面でタブレットを効果的に活用し、子どもたちの考える力や表現する力をさらに高めたいと思っています。

